

7 本時案（3時）

本時の目標	落ちずにいるためのバランスのとり方を工夫し、体のバランスを保つ動きを身に付けることができる。	
	学習活動	教師の支援と評価（◎）
1 体ほぐしをする。（だるまさんがおどった） 2 挑戦課題と問いを共有する。 問い 落ちないようにバランスをとるにはどうすればいいかな？ 今日も落ちずにいられるかな？ 3 「だるまさんがころんだ」に取り組む。 （子どものめあてと意識の流れの例） 落ちないようにバランスをとろう。 ピタッと止まってる人みつけた。みんなもピタッと止まれるかな？ 4 共有する。 A 児の例 足に力を入れてピタッと止まっている友達がいるな。足に力を入れてピタッとに挑戦してみよう。 B 児の例 ピタッと止まるの難しいな。どうやったら、ピタッと止まれるか探してみよう。 5 再度、「だるまさんがころんだ」に取り組む。 足に力を入れるとピタッと止まれたよ。「体をまっすぐ」にしてもピタッと止まれるかやってみよう。 手を振ってバランスをとったり、足に力を入れてやってみたりしたけど難しいな。友達がやっていた「力を抜いて」やってみよう。 6 まとめ（ラストバランス）をする。 いろいろな体の使い方を試しても、ピタッと止まれたよ。ピタッと止まると長い時間落ちずにいられそう。 体の力を抜いてみると、少しピタッと止まれるようになってきたよ。 7 学習の振り返りをする。		○ 前時のどうすれば落ちないようにバランスを保つことができたかを振り返ることで、本時でもバランスのとり方を意識して取り組むことができるようにする。 ○ バランスをうまく保つことができない子どもには、場を簡単にしたり、バランスをとるためのコツを助言したりすることで、自分なりのバランスのとり方を身に付けることができるようにする。 ○ バランスをとるために意識している体の部位にシールを貼ることで、その部位を意識しながら遊ぶことができるようにする。 ◎ 体のバランスを保つ動きを身に付けることができる。（知識及び運動） ○ ピタッと止まっている友達の動きを称賛し、実際に体を動かしてポーズをとることで、ピタッと止まるコツに気付くことができるようにする。 ○ 子どもが意識した部位をポーズカードに示すことで、自分では気付かなかった体の使い方に気付くことができるようにする。 ○ 友達を応援したりサポートしたりしている子どもを称賛することで、友達と一緒にバランスのとり方を考えたり、みんなで関わり合って学ぶことの楽しさを味わったりすることができるようにする。 ○ バランスのとり方を意識できるような声掛けを続けることで、自分にとって安定したバランスのとり方を考えたり試したりすることができるようにする。 ◎ 落ちないで向こう側に行くための遊び方を工夫している。（思考力、判断力、表現力等） ○ うまくいったバランスのとり方を使って、再度「だるまさんがころんだ」をすることで、自分なりのバランスのとり方を実感することができるようにする。 ○ バランスをとるためにうまくいったことやうまくいかなかったことを近くの人と振り返ることで、体の使い方を意識することができるようにする。

